

「文化財保存活用地域計画」総合調査から⑨

津久見市の歴史文化の特性と関連文化財群について —文化財の把握調査から見てくるもの—

〇問い合わせ

津久見市教育委員会 生涯学習課 地域計画担当
TEL 0972-82-9528 / FAX 0972-85-0081

今年度第1回作成協議会(5月23日開催)で、津久見市内に所在する文化財の概要について中間報告を行いました。今月は、管内の文化財の概要と調査成果をもとにした今後の取組みについて紹介します。

計画の作成にあたっては、まず津久見の歴史や文化は？またどういった文化財が残っているのか？といったことを知るため実態調査を行ってきました。

調査に際しては、調査区を大きく津久見・青江・下浦(徳浦・堅浦・長目)・日代・四浦・保戸島の6地区に設定して実施。というのも私たちの津久見市域は、近世、北部が稲葉白杵藩、南部が毛利佐伯藩の二つに分かれていました。そして明治維新後は、白杵・佐伯両藩にそれぞれ所属していた津久見の村と浦がひとつになります。その後合併を重ねながら現在に至っていますが、そのもととなったのがこの6つの地区(村)だったのです。それぞれ津久見湾に向かって囲み込むように位置し、平地の少ない点では共通していましたが、それでも地理的特性を生かしながら独自の文化、産業等で発展を遂げてきたのです。

右下のQRコードで示す表は、地区ごとの文化財の把握状況(令和6年3月末現在)の件数です。記されている文化財は文化財保護法に定義されている六つの類型で分けています。そのため、この中には、伝承や郷土料理など口伝によるものなどについては、現段階では含まれていません。

この表を見ると管内で一番多いのが有形文化財で、特に建造物が7割近くを占めています。その大半は石造物で庚申塔や五輪塔など様々な石塔類が市内全域に残っています。これは津久見市のひとつの特性といえます。その次に目立つのが天然記念物(動物・植物・鉱物)です。特に巨木(胸高周囲3m以上を目安)は63本。青江地区、八戸、津久見地区特に彦ノ内から中田にかけて多く生育しています。

その他、鉱物(地質資源)として石灰石(石灰岩)や珪石

(チャート)などがあげられます。特に、石灰石の生産量は日本一で、さらに最近では網代島のチャートなども注目されています。そのほか、日本の三大リアス海岸のひとつとされる豊後水道その自然の造形美はすばらしく、また豊後水道を通し四国・瀬戸内海一帯との交流は、「ひと」や「もの」だけでなく様々な文化をもたらしたのです。特に、海に生活の糧を見出してきた四浦半島一帯では、恵比寿様や金毘羅様や石鎚山といった信仰が盛んで関連する文化財も数多く残っています。

このように海と山、豊かな自然に育まれた暮らしの中で培われてきた歴史や文化は、時代を超え今なお息づいています。

今後は、こうした文化財の調査の成果をもとに整理、分析し、「津久見の歴史文化の特性」さらに地域に存在する多種多様な指定・未指定の文化財を歴史的・地域的関連性に基づき、一定のまとまり(群)として捉えた「関連文化財群」の設定をしていくことにしています。これは相互の関連性を踏まえた一体的・総合的な保存・活用に向けた取組みをすすめるため、広い視点からの歴史文化への関心・理解を促すと同時に、構成する個々の文化財の価値を見直し、保存活用を図っていくためのものです。

有形無形のこうした歴史文化・文化財の見直しは、きっと「津久見らしさ」「津久見の魅力」の再発見につながっていくものと思っています。

この計画書は、歴史文化や自然を記す専門書ではありません。まず市民の方々に文化財を知ってもらい、その価値を理解して守り、そして個々の文化財や文化財群に付加価値をつけて、地域づくりや観光資源として役立て活かしていくためのものです。

市民が地域の歴史や文化を知り、誇りや自信をもてるようなものを目指していきます。

地区ごとの文化財の把握状況の表は
こちらからご覧いただけます→



令和6年度 市民図書館企画展 「戦争の記録から学ぶ平和の尊さ」を開催します

津久見市では、毎年7月25日(保戸島空襲)から8月15日(終戦記念日・中津留大尉最後の特攻)までの間、「戦争の記録に学ぶ平和の尊さ」と題して、戦時下の津久見の人たちの歴史を実際に残る資料を交えて紹介する企画展を開催しています。

この企画展は、終戦記念日を間近にひかえた7月中旬から8月にかけて、テレビや新聞で「戦争と平和」についての特集が報道される時期と重なり、身近な問題として考える絶好の機会となっています。

期 間 / 7月18日(木)～8月18日(日)
※時間は図書館の利用時間と同じ

場 所 / 津久見市民図書館

主 催 / 津久見市・津久見市教育委員会・生涯学習課

内 容 / 戦時下の津久見の歴史

保戸島空襲・中津留大尉最後の特攻ほか



戦争の記憶を継承するための活動の一環として
開催している企画展